

2023年度 ニチキッズ八戸しおかぜ保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2024年2月13日（火）～2月26日（月）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2024年2月29日（木）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	“おもいっきり”保育の継続を念頭に毎月1回「いきいき・わくわく・体験あそび」を各クラスで計画・実施した。STEAM教育を参考に科学遊びを取り入れ子ども達の興味・関心に目を向けた体験は、多岐にわたり「楽しい遊び」に繋がった。
子どもの発達援助	一人一人の発達や特性を理解と共有を行い保育の実施してきた。子どもへの気づきから認めて褒めて伸ばす保育を継続する事で、やる気や友達を思いやる気持ちが芽生えたことで異年齢交流が活発に行われた。研修やカンファレンスでの共有の時間を意図的に取り入れたことは発達援助の対応の促進に繋がりがり子ども達の適切な発達援助に努める事ができた。
保護者に対する支援	送迎時の対話・三者面談・運営委員会など、保護者様の意向を受け止め情報共有しながら信頼関係を構築し一緒に育児を行えるよう協働の体制をとることが出来た。特に離乳食の進め方は保護者のニーズを受け止め、寄り添いながら保護者支援を積極的に取り組んできた。
保育を支える組織的基盤	園内研修は各々が、自己啓発に取り組み話し合う事が定着し、学びを保育に活かし実施したことにより保育の質の向上に努めることが出来た。自園に必要な事柄に常に目を向け同じ認識をもって保育を進められるように取り組んでいきたい。

総評
子どもの成長や発達、保護者様の状況などに合わせながら、丁寧に寄り添った対応をする事ができた。子育て支援・子育て支援について創意工夫をしたイベント・行事などの実施が出来たことは保護者様に寄り添った保育にも繋がったと考察する。主任が職員との潤滑油となり、スタッフ間の課題解決・悩み解決・スムーズな業務への遂行に力を発揮したことなど今後もこの体制の維持をしていきたい。共通認識としての“子どもの気づきを待ち、褒めて伸ばす保育”を継続しながら子ども達の「今日も楽しかった」という充実感を増やす環境づくりの定着（保育計画・保護支援）を継続させていきたい。また、不適切保育撲滅の為、子どもの最善の利益を念頭に自身の保育・行動の見直しをしながら、専門職の責任を果たしていくよう、意識を高め取り組んでいきたい。